令和5年度の主な取り組みについて

1 医療の質の向上

(1) 急性期・高度医療の充実

自治体病院として、政策的医療(救急、精神、結核、感染症、認知症疾患)に引き続き取り組むと ともに、高岡医療圏の中核的病院として、高度医療、急性期医療の強化に努める。

- 急性期医療の充実
 - ○高度医療機器の更新と更なる活用

(N)骨塩定量測定装置更新(共同利用機器)ほか

- ・ 拠点病院としての機能強化
- 特長ある診療の強化
 - ○5疾病への対策強化
 - № 4 階中病棟 (精神)の個室化による受け入れ体制の充実 (R5 実施設計)
- ・ 政策的医療の堅持
 - ○感染症に対する医療圏内での中核的な役割の遂行 新型コロナウイルス感染症患者の受入れ継続
 - ○精神・認知症疾患への体制充実 4階中病棟(精神)の個室化(再掲)

(2) 安全・安心・納得の医療提供

- 医療情報提供、医療相談体制の充実
 - ○診療情報の提供 診療科の症例等情報更新
 - ○患者サポート体制の充実 がんサロンの定期的開催、がん相談員の育成
- ・ 信頼される病院づくり
 - ○病院機能評価の認定更新

N令和5年度の認定更新を通じた医療の信頼性の向上

○利便性の向上

病院情報システム(電子カルテシステム等)の更新(R4 から継続) (スマートフォン受付やクレジットカードによる後払いシステムの導入を検討)

N患者向けWi-Fi の整備

- ・ 医療スタッフの確保・資質向上
 - ○スタッフの確保・資格取得支援
 - ・関連大学附属病院医局に対する医師派遣要請
 - · 看護師育成事業
 - a 認定看護師の育成 認定看護師教育課程 1名受講(皮膚、排せつケア)
 - b 特定行為に係る看護師の育成 院内研修3名受講見込(栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、血糖コントロール

に係る薬剤投与関連、動脈血液ガス分析関連)

- c 助産師の育成
- ・医療技術者育成事業 新規取得 緩和薬物療法認定薬剤師ほか
- ・各種指定病院として必須な資格の維持、資質向上のための研修会参加等の支援
- ○臨床研修医の確保
 - ・ホームページの充実・研修プログラムの充実 ※協力型を併せ月7~8名の予定
 - ・医学生の実習(11月下旬~翌年7月下旬)や見学者の受け入れ(随時)
- ○医師・看護師等の負担軽減による診療充実
 - ・法改正に伴う他職種へのタスクシフトへの対応(研修受講の推進)

(3) 地域に根差した医療の提供

かかりつけ医や地域の医療機関等との機能分担を推進し、紹介による急性期患者の早期受入れ や急性期を脱した患者の開業医や介護老人施設等への逆紹介を積極的に取組み、病病連携、病診 連携を強化し地域完結型医療を目指す。

・ 地域支援機能の充実

- ○紹介・逆紹介の推進
 - ・紹介患者優先診療の実施、複数のかかりつけ医への逆紹介 (年平均逆紹介率 100%超えを目標)
 - ・院長をはじめとした病院幹部職員による開業医訪問
 - ・患者支援センターを活用した逆紹介の推進
 - ・開業医との連携強化に向けた地域連携懇話会の開催
 - ・病院フェスティバルの開催

・ 予防医療の推進

○院外健康教室・出前講座の実施 がんや感染症等のテーマの出前講座の実施により、市民の健康維持に寄与する。

• 地域医療構想と連動した医療体制構築

- ○地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み
 - N急性期退院後の訪問看護体制の強化

2 経営の安定

政策医療や高度医療等を安定的かつ継続的に提供していくために、自律性の高い健全経営 に努める。

医業収益の確保

- ○円滑な救急・紹介患者の受入 DPC 入院期間率II までの退院率向上による診療単価増加に向けた取り組み
- ○経営の安定に必要なスキルを有する職員の育成 経営戦略ワーキングの開催を通した課題の共有、加算取得や経費削減の検討

医業費用の削減

○長期的な計画を基にした修繕の実施

中央監視装置更新工事(R4から継続) ほか

- ○薬品・医療材料の効率的運用他医療機関との共同購入の検討
- 持続可能な病院経営のための病床数の適正化 コロナ後の持続可能な病院経営を目指す中での病床数の適正化を検討
- ・ 情報化の推進
 - ○情報化の推進 病院情報システム(電子カルテシステム等)の更新(再掲)
- 一般会計繰入金の適正化の維持
- 3 チーム医療の推進とワークライフバランスの推進
 - ・ チーム医療の推進
 - 病院機能強化に必要な人員配置・人材育成
 - ・ 働き方改革の推進
- 4 その他
 - ・第V期中期経営計画の改定 公立病院経営強化ガイドラインを踏まえた第V期中期経営計画の改定